

学校関係者評価報告書

公益社団法人藤沢市医師会 湘南看護専門学校学校関係者評価委員会は、2024年度自己点検・自己評価報告に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

2025年4月20日
公益社団法人藤沢市医師会
湘南看護専門学校
学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会

委員長 北澤 伯子（教育有識者 本校非常勤講師/本校前校長）
委員 曾我 孝子（実習施設関係者 藤沢湘南台病院看護部長）
委員 大塚 真奈（地域代表者 藤沢市湘南大庭市民センター長）
（事務局）今井 れい子 湘南看護専門学校校長
金井 純雄 湘南看護専門学校事務長
石井 明美 湘南看護専門学校教務主任
神林 昭博 湘南看護専門学校教務副主任

2 開催日時

2025年3月28日（金）15:00～16:00

3 評価方法等

2025年2月に教職員が実施した自己評価結果に基づき評価、講評を行った。

4 評価項目の評価・意見

I 教育理念・教育目標・育成人材像

特に問題なし

II 学校運営

特に問題なし

III 教育活動

教員の負担感が記載されているが、これは新カリキュラムに一生懸命摺に取り組んだ成果として評価されるものである。

IV 学習成果

今年度、退学率は低下したが、「3）退学率の低減に向けた取り組みが図られているか」の評価においては、ほぼ不適切との評価が多い。しかしながら、成績低迷者や欠席・早退・遅刻の多い学生への対応を通じた教育成果が見られている点はポジティブに評価してよい。

V 学生支援

特に問題なし

VI 教育環境

「1）施設・整備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか」において、前年度比で0.2ポイントの改善が見られる。その理由を追求することが重要である。自由記載で指摘された事項を確認することも有益だが、向上している点に注目すべきである。

Ⅶ 学生募集

全国的に子どもの数は減少しているが、神奈川県では減少のペースが比較的遅いとされている。しかし、入学生の減少は厳しい状況となっている。看護師のイメージも変化しており、以前ほど「なりたい職業」として認識されていない状況がある。また、看護師への具体的なイメージを持たないまま入学する学生も見受けられる。

社会性の低下やスキルの衰え、苦勞して考える体験の減少がこの状況に関係している可能性がある。

高校訪問の際の情報では、看護師を志望する生徒の数は減少傾向にある。また、偏差値が高くない学校の生徒でも、第一志望として大学を考えているケースが聞かれるようになった。

ホームページをリニューアルし、アクセス数を把握しているが、増加しているとは言い難く、次年度の入学生には、どの部分に関心を持ったのかを尋ねることが有用である。

病院側も看護師を集めることに苦慮している。人材コンサルティング会社によれば、ホームページやインスタグラムを確実に活用することが重要であり、多くの人に目に触れる機会を増やす必要があると指摘されている。

次年度の計画に基づき、入試方法や募集方法の工夫を積極的に試みることが求められる。

Ⅷ 財務

特に問題なし

Ⅸ 法令等の遵守

特に問題なし

X 社会貢献・地域貢献

小学生および中学生を対象に職業体験の機会を増やすことが重要である。学生を学校に招くだけでなく、こちらから出向くことも有益であると考えられる。地域への貢献を含め、地域における看護師の役割や存在を知ってもらうことが、学生募集の促進にもつながる可能性がある。

5 学校関係者評価 総括

学校関係者評価に基づき検討した今後の課題は、「適切」と評価された点に注目し、現在できている部分をさらに伸ばし強化を図る。引き続き入学者の分析を実施し、入学生の確保に努める。今後も自己点検および自己評価を継続しながら、学校運営の改善に向けた取り組みを進めていただきたい。

6 自己点検・自己評価結果

別紙のとおり

以 上